

2022年3月18日



ドローン遠隔操作を 活用した 新たな 観光促進事業



心に届く旅



阪急交通社

Direct to your heart

株式会社阪急交通社

株式会社 RedDotDrone Japan

担当：藤原・丹羽

担当：三浦・平川

RDD

ドローン遠隔操作を活用した新たな観光促進

ドローンの遠隔操作技術を用いて都市部（体験会場）から、お客様自身がコントローラー等を用いて、観光地に設置したドローンを自在に安全に遠隔操作することによって、お客様が好む観光地の景色（絶景）を会場から自由に操作し、**リアルタイム**で、**主体的**に観光を楽しむ新しい旅行形態を提案します



前回実証実験 課題 11月 @砥峰高原

実施日：

①11月4日 6名 ②11月4日 5名 ③11月15日 6名 ④11月15日 5名 合計22名様

※60～70歳の方に多く参加いただきました。

・たびコト塾の満足度

満足 12/22 やや満足 6/22 普通4/22

・神河町に行きたくなった 21/22

・ドローンを利用した観光に興味を持ったか 非常に興味を持った22/22

・ドローンの操作について

快適 13/16 難しかった 3/16 反応が悪い 0/16

・画質について

問題なし 16/18 画質が悪かった 2/18

★旅の面白さを増す仕掛けとしてとても期待

★自分でもトイドローンから練習してみようと思った

★旅行に行っても見ることができない風景を楽しむことができた

×一人の操作に時間がかかるので2台飛ばして体験できる人数を増やす仕組みが必要

→次回は2台飛ばして検証

×操作方法の理解に時間がかかる

→事前に操作方法マニュアルを配布+講師の指導・誘導

自走に向けたサービスの提供先への実験

対象 : 旅行に行きにくい方々（高齢、介護施設様）
観光地のプロモーション（自治体観光課様）

機体数 : 2機同時操作に挑戦
→時間の有効活用、2機による楽しみ方、安全性確保

操作方法 : 操作簡易マニュアルの事前配布、丁寧な操作指導

ドローン飛行の操作

左右のスティックを使いドローン进行操作します。
左スティック：上昇・下降と、機体の向きを変えます。
右スティック：前進、後進と、右移動、左移動をします。
また左上にあるダイヤルを回すことでカメラの角度を変更できます。



スティックの操作は、Mode2と呼ばれる操作方法です。



2~3月

@ホテルアナガ (淡路島)



心に届く旅
阪急交通社
Direct to your heart

■2月18日(金) 会場: ホテルアナガ ドローン: ホテルアナガ

★淡路島の自治体関係者様を対象に実施★

(一社)淡路島観光協会 観光戦略室	2名様
淡路市 産業振興部商工観光課	2名様
南あわじ市	4名様
洲本市 産業振興部商工観光課	2名様
株式会社FLIGHTS	1名様
淡路県民局交流渦潮室	3名様

■3月11日(金) 会場: fabbit神戸三宮 ドローン: ホテルアナガ

★兵庫県の自治体関係者様、高齢介護関係者様を対象に実施★

(一財) 神戸観光局	2名様
宝塚市観光企画課	1名様
兵庫県産業労働部観光局観光企画課	2名様
神戸ユニバーサルツーリズムセンター	4名様
内閣官房小型無人機等対策推進室	3名様
(一社) 兵庫県老人福祉事業協会(P)	3名様
株式会社 Dron e motion	2名様
株式会社 F L I G H T S	2名様
サンテレビ	1名様

ご参加いただいた方のお声 (アンケートより)

- ・ 遠隔操縦体験の時間 (10~15分)
適切 11/14 より短く 0/14 より長く 3/14
- ・ ドローンの飛行範囲
適切 7/14 より広範囲に 6/14 高度の変化を希望 1/14
- ・ ドローンの操作について ※1名複数回答
快適 14/14 難しかった 1/14 反応が悪い 0/14
- ・ 画質について
問題なし 10/14 画質が悪かった 4/14
- ・ ドローンを飛ばした観光地に行くたくなかったか ※1名複数回答
行きたい 12/14 ドローンで十分 3/14
- ・ 今後のドローン遠隔操作に求めるもの ※複数回答あり
観光地の詳細解説 9/26 現地とのやりとり 11/26 お土産 3/26
音楽 2/26 ドローンの基本説明 1/26
- ・ 体験会の満足度
満足 9/14 やや満足 3/14 普通 1/14

★どんな事業に利用できそうか★

- ・ 観光地の体験型PRイベント
- ・ 移住イベントでのPR
- ・ 食のイベントでの生産現場中継
- ・ バリアフリーイベントでPR
- ・ 小中学生向けドローン体験教室
- ・ 子どもの自由研究と併せたプラン展開
- ・ 旅行に行きにくい方向けの体験
- ・ 旅行会社のツアー説明会に利用
- ・ 自身が操作した映像のプレゼント

★今後に期待すること★

- ・ 操作範囲の拡大
- ・ 複数個所の遠隔操作
- ・ 観光地の紹介
- ・ ゲーム性の追求

★懸念事項★

スクリーンの画質

: スクリーンではなく、モニターやテレビにつなぐ
ZOOM以外の配信ツールを利用する

単なるライブカメラ
金額 (検討要)

: 観光解説や現地とのやりとり などリアルをアピールする
: 5分200円 10分500円/高齢者施設は1施設20万円まで
→ターゲットを絞り、展開を図る



自走に向けて

観光地のプロモーション（自治体関係者様）としての利用を中心に営業展開

→★観光課へのセールス
+高齢福祉課へ施設への事業補助の相談

2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）に向けても先進的事業としての利用を広めていきます。



 **全国的な取り組みへ**